

# 部品交換要領書

通風ドア NEWエアリフレ NKD-TF・  
デザインドア NEWエアクリエ NKD用 HHW14-050  
交換用シリンダー 2015年5月発行

## 作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。  
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。  
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

## 作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。  
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)  
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

## 安全上の注意事項

### お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。  
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。  
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。  
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。  
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業を行ってください。

## 同梱されているもの

交換用シリンダー HH-J-0527U9  交換用シリンダー：2個 子カギ：3本	交換要領書  本書 1枚
--	-----------------------

※取付ねじは同梱されていません。  
現在取り付いている取付ねじを使用してください。

## 作業のために準備していただくもの

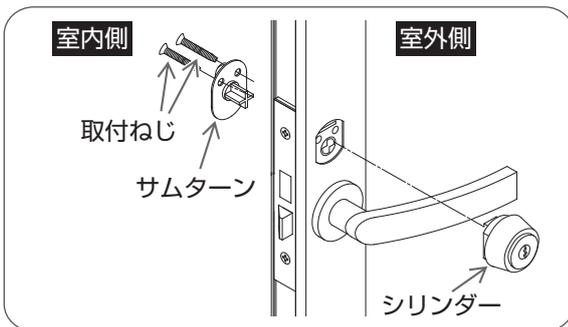
プラスドライバー  + 1本
---

## 部品の取りはずし方

### お願い

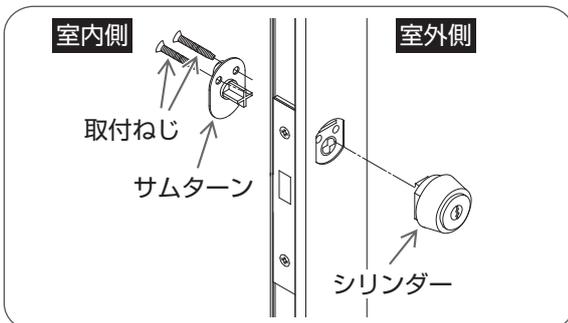
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。  
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。  
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業を行ってください。

### 1 主錠シリンダー・サムターンの取りはずし



室内側よりプラスドライバーでサムターンの取付ねじをはずし、サムターンおよびシリンダーをはずす。  
※取付ねじをはずすと、シリンダーがはずれます。  
落下にご注意ください。  
※取りはずしたサムターンおよび取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

### 2 補助錠シリンダー・サムターンの取りはずし



室内側よりプラスドライバーでサムターンの取付ねじをはずし、サムターンおよびシリンダーをはずす。  
※取付ねじをはずすと、シリンダーがはずれます。  
落下にご注意ください。  
※取りはずしたサムターンおよび取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

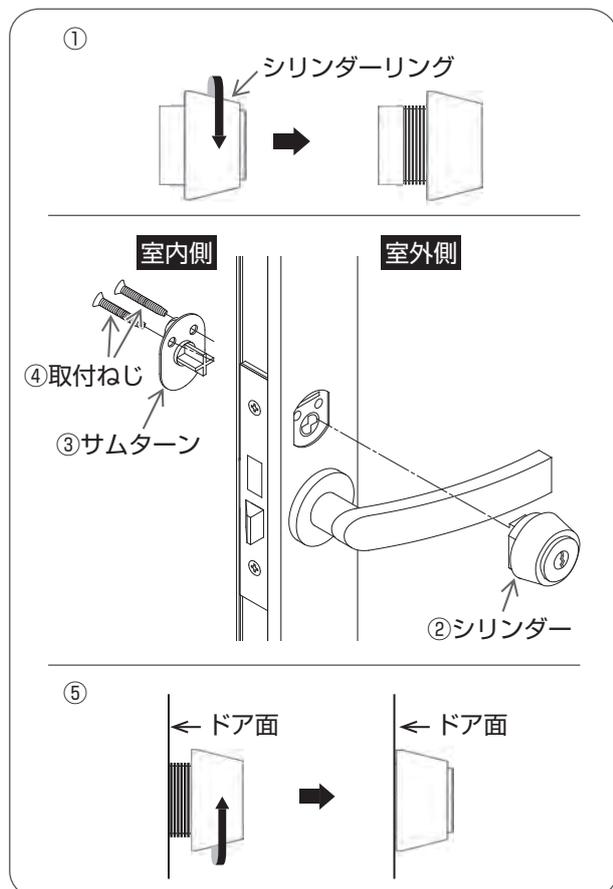
※部品の取り付け方は2、3ページをご覧ください。

## 部品の取り付け方

### お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをすることがあります。  
 軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。  
 ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業を行ってください。

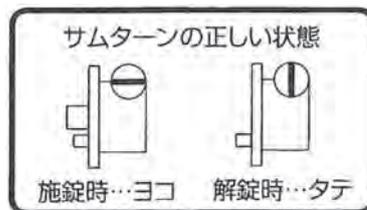
## 1 主錠シリンダー・サムターンの取り付け



- ① シリンダーのシリンダーリングを反時計回りに止まるまで回しきる。
- ② 室外側よりシリンダーを錠ケースの取付穴に差し込む。  
 ※シリンダーのM I W Aマークが上になるように取り付けてください。



- ③ サムターンの向きを施錠状態に合わせて差し込む。



- ④ プラスドライバーで取付ねじを仮止めし、サムターンを数回作動させ、動きのよい所でしめる。
- ⑤ シリンダーリングを時計回りに回してしめる。

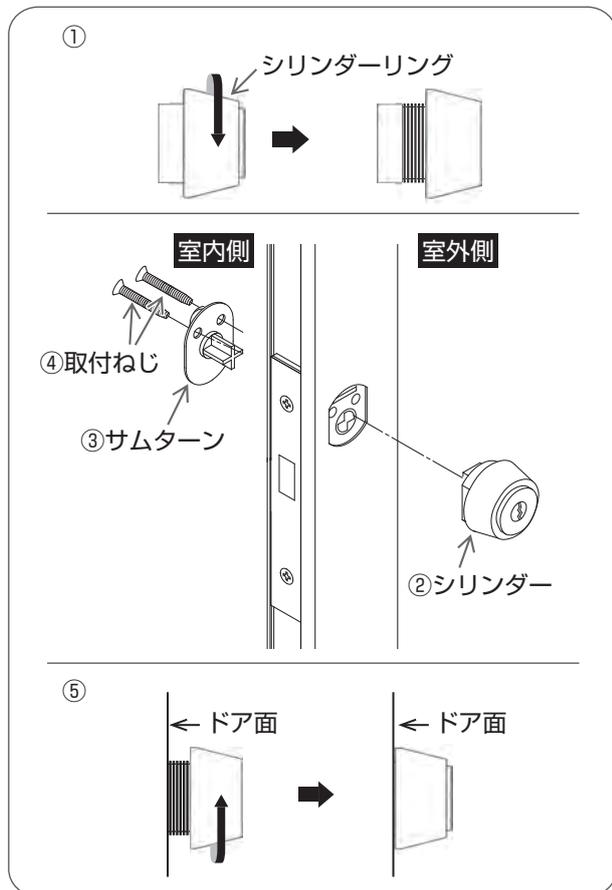
※部品の取りはずし方は 1 ページをご覧ください。

## 部品の取り付け方

### お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。  
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。  
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業を行ってください。

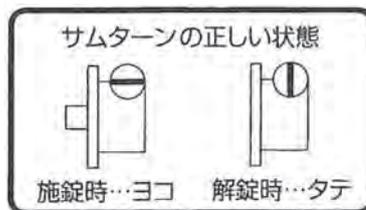
## 2 補助錠シリンダー・サムターンの取り付け



- ① シリンダーのシリンダーリングを反時計回りに止まるまで回しきる。
- ② 室外側よりシリンダーを錠ケースの取付穴に差し込む。  
※シリンダーのM I W Aマークが上になるように取り付けてください。



- ③ サムターンの向きを施錠状態に合わせて差し込む。



- ④ プラスドライバーで取付ねじを仮止めし、サムターンツマミを数回作動させ、動きのよい所でしめる。
- ⑤ シリンダーリングを時計回りに回してしめる。

## 部品の交換後のチェック



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ 錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
- ④ サムターンをまわし、施解錠ができることを確認してください。
- ⑤ 取付ねじを強く締めると、施解錠が固くなる場合があります。その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は 1 ページをご覧ください。